

法人単位資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日 (至)令和 7年 3月31日

法人名：社会福祉法人 大住福祉会

(単位：円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	保育事業収入	172,266,870	176,269,975	△ 4,003,105	
	受取利息配当金収入	90,960	90,987	△ 27	
	その他の収入	2,413,400	2,422,000	△ 8,600	
	事業活動収入計 (1)	174,771,230	178,782,962	△ 4,011,732	
支出	人件費支出	138,230,000	132,393,208	5,836,792	
	事業費支出	13,440,770	13,420,945	19,825	
	事務費支出	13,227,956	12,309,523	918,433	
	事業活動支出計 (2)	164,898,726	158,123,676	6,775,050	
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	9,872,504	20,659,286	△ 10,786,782	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計 (4)	0	0	0	
	支出				
	固定資産取得支出	1,165,000	792,000	373,000	
	施設整備等支出計 (5)	1,165,000	792,000	373,000	
その他の活動による収支	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 1,165,000	△ 792,000	△ 373,000	
	収入				
	その他の活動収入計 (7)	0	0	0	
	支出				
	積立資産支出	8,700,000	19,800,000	△ 11,100,000	
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	その他の活動支出計 (8)	8,700,000	19,800,000	△ 11,100,000	
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 8,700,000	△ 19,800,000	11,100,000	
	予備費支出 (10)	7,504	—	7,504	
		0			
	当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	67,286	△ 67,286	

前期末支払資金残高 (12)	66,731,453	66,731,453	0	
当期末支払資金残高 (11)+(12)	66,731,453	66,798,739	△ 67,286	

法人単位事業活動計算書

（自）令和 6年 4月 1日 （至）令和 7年 3月31日

法人名：社会福祉法人 大住福祉会

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収益	保育事業収益	176,269,975	150,979,010	25,290,965
	費用	サービス活動収益計(1)	176,269,975	150,979,010	25,290,965
		人件費	132,393,208	116,288,453	16,104,755
		事業費	13,420,945	11,406,451	2,014,494
		事務費	12,309,523	10,482,229	1,827,294
		減価償却費	11,544,143	12,645,202	△ 1,101,059
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 2,983,954	△ 2,948,756	△ 35,198
	サービス活動費用計(2)	166,683,865	147,873,579	18,810,286	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	9,586,110	3,105,431	6,480,679		
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	90,987	92,749	△ 1,762
		その他のサービス活動外収益	2,422,000	2,748,550	△ 326,550
	サービス活動外収益計(4)	2,512,987	2,841,299	△ 328,312	
	費用				
		サービス活動外費用計(5)	0	0	0
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,512,987	2,841,299	△ 328,312		
経常増減差額(7)=(3)+(6)		12,099,097	5,946,730	6,152,367	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	0	772,000	△ 772,000
	特別収益計(8)	0	772,000	△ 772,000	
	費用	固定資産売却損・処分損	107,132	4	107,128
		国庫補助金等特別積立金積立額	0	772,000	△ 772,000
		特別費用計(9)	107,132	772,004	△ 664,872
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 107,132	△ 4	△ 107,128	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		11,991,965	5,946,726	6,045,239	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		163,133,034	171,786,308	△ 8,653,274
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		175,124,999	177,733,034	△ 2,608,035
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)		0	0	0
	その他の積立金積立額(16)		19,800,000	14,600,000	5,200,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		155,324,999	163,133,034	△ 7,808,035

法人単位貸借対照表

令和 7年 3月31日現在

法人名：社会福祉法人 大住福社会

（単位： 円）

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当 年 度 末	前 年 度 末	増 減		当 年 度 末	前 年 度 末	増 減
流動資産	73,934,125	75,246,951	△ 1,312,826	流動負債	7,135,386	8,515,498	△ 1,380,112
現金預金	50,052,273	63,822,598	△ 13,770,325	事業未払金	4,050,912	4,196,580	△ 145,668
事業未収金	18,714,600	8,000	18,706,600	預り金	0	6,339	△ 6,339
未収補助金	4,947,000	11,117,090	△ 6,170,090	職員預り金	3,084,474	4,312,579	△ 1,228,105
前払金	72,852	34,377	38,475				
前払費用	147,400	264,886	△ 117,486				
固定資産	316,994,143	308,053,418	8,940,725	固定負債	0	0	0
基本財産	177,505,397	183,494,722	△ 5,989,325	負債の部合計	7,135,386	8,515,498	△ 1,380,112
建物	177,505,397	183,494,722	△ 5,989,325	純 資 産 の 部			
その他の固定資産	139,488,746	124,558,696	14,930,050	基本金	57,338,545	57,338,545	0
建物	22,682,789	25,290,507	△ 2,607,718	国庫補助金等特別積立金	66,329,338	69,313,292	△ 2,983,954
構築物	6,072,056	6,223,404	△ 151,348	その他の積立金	104,800,000	85,000,000	19,800,000
器具及び備品	5,485,187	7,563,777	△ 2,078,590	人件費積立金	40,000,000	30,000,000	10,000,000
権利	448,714	481,008	△ 32,294	修繕積立金	52,800,000	43,000,000	9,800,000
人件費積立資産	40,000,000	30,000,000	10,000,000	備品等購入積立金	12,000,000	12,000,000	0
修繕積立資産	52,800,000	43,000,000	9,800,000	次期繰越活動増減差額	155,324,999	163,133,034	△ 7,808,035
備品等購入積立資産	12,000,000	12,000,000	0	（うち当期活動増減差額）	11,991,965	5,946,726	6,045,239
				純資産の部合計	383,792,882	374,784,871	9,008,011
資産の部合計	390,928,268	383,300,369	7,627,899	負債及び純資産の部合計	390,928,268	383,300,369	7,627,899

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

社会福祉法人 大住福祉会

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
Ⅰ 資産の部						
1 流動資産						
現金預金		-		-	-	50,052,273
現金	現金手許有高	-	運転資金として	-	-	119,772
普通預金	京都銀行大住支店 No. 646636	-	"	-	-	12,927,007
	京都銀行大住支店 No. 650104	-	"	-	-	10,607,022
定期預金	京都銀行大住支店 No. 1041901	-	"	-	-	26,398,472
事業未収金		-	委託費 精算分	-	-	18,714,600
未収補助金		-	特別保育事業費補助金等	-	-	4,947,000
前払金		-	2025年度購読料等	-	-	72,852
前払費用		-	2025年度AEDリース料等	-	-	147,400
流動資産合計						73,934,125
2 固定資産						
(1) 基本財産						
建物	京都府京田辺市大住下西野77番地、78番地 所在の 鉄筋コンクリート造かわらぶき陸屋根2階建 大住保育園園舎1棟 1階455.62㎡ 2階393.31㎡ 木造スレートぶき平家建大住保育園園舎1棟 1階158.01㎡	2000年度 2012年度 2020年度	第2種社会福祉事業である、大住保育園 等に使用している	223,419,820 19,963,427 51,200,858	106,515,152 5,306,939 5,256,617	116,904,668 14,656,488 45,944,241
小 計						177,505,397
基本財産合計						177,505,397
(2) その他の固定資産						
建物	京都府京田辺市大住下西野77番地、78番地 所在の 鉄筋コンクリート造かわらぶき陸屋根2階建 大住保育園園舎1棟1階455.62㎡ 2階393.31㎡ 木造スレートぶき平家建大住保育園園舎1棟 1階158.01㎡	2012年度 2013年度 2020年度 2023年度	第2種社会福祉事業である、大住保育園 等に使用している	6,970,663 1,890,000 29,197,430 1,698,400	5,643,315 1,889,999 9,398,150 142,240	1,327,348 1 19,799,280 1,556,160
小 計						22,682,789
構築物	園庭遊具等	-	保育事業用	39,310,023	33,237,967	6,072,056
器具及び備品	エアコン、厨房機器等	-	保育事業用	26,846,828	21,361,641	5,485,187
権利	電話加入権等	-	保育事業用	604,800	156,086	448,714
ソフトウェア	栄養計算ソフト	-	保育事業用	179,712	179,712	0
人件費積立資産	京都銀行大住支店 No. 650104	-	将来における人件費のために積み立て ている普通預金	-	-	40,000,000
修繕積立資産	京都銀行大住支店 No. 650104	-	将来における修繕費のために積み立て ている普通預金	-	-	52,800,000
備品等購入積立資産	京都銀行大住支店 No. 650104	-	将来における備品等購入費のために 積み立てている普通預金	-	-	12,000,000
その他の固定資産合計						139,488,746
固定資産合計						316,994,143
資産合計						390,928,268
Ⅱ 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	3月分給食材料等	-		-	-	4,050,912
職員預り金	3月分社会保険料等	-		-	-	3,084,474
流動負債合計						7,135,386
2 固定負債						
固定負債合計						0
負債合計						7,135,386
差引純資産						383,792,882

計算書類に対する注記（法人全体用）

1. 重要な会計方針

(1)資産の評価基準及び評価方法

該当なし

(2)固定資産の減価償却の方法

- ・建物 — 定額法
- ・構築物 — 定額法
- ・器具及び備品 — 定額法
- ・ソフトウェア — 定額法
- ・権利 — 定額法

(3)引当金の計上基準

- ・賞与引当金 — 重要性に乏しいため計上しない。
- ・徴収不能引当金 — 重要性に乏しいため計上しない。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 法人で採用する退職給付制度

退職給付制度は、京都社会福祉事業企業年金基金が実施する退職給付制度及び、独立行政法人福祉医療機構が実施する社会福祉施設職員等退職手当共済制度に加入している。

4. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 法人全体の計算書類(会計基準省令第1号第1様式、第2号第1様式、第3号第1様式)
- (2) 事業区分別内訳表(会計基準省令第1号第2様式、第2号第2様式、第3号第2様式)

当法人では、事業区分が社会福祉事業のみのため、省略する。

- (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)
- (4) 収益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)

当法人では、収益事業を実施していないため、作成していない。

(5)各拠点区分におけるサービス区分の内容

ア 法人本部拠点（社会福祉事業）

「本部」

イ 大住保育園拠点(社会福祉事業)

「大住保育園」

5. 基本財産の増減の内容及び金額

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	183,494,722	0	5,989,325	177,505,397
合計	183,494,722	0	5,989,325	177,505,397

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物(基本財産)	294,584,105	117,078,708	177,505,397
建物	39,756,493	17,073,704	22,682,789
構築物	39,310,023	33,237,967	6,072,056
器具及び備品	26,846,828	21,361,641	5,485,187
合計	400,497,449	188,752,020	211,745,429

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 関連当事者との取引の内容

該当なし

12. 重要な偶発債務

該当なし

13. 重要な後発事象

該当なし

14. 合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受け

該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

監 査 報 告 書

令和 7 年 5 月 19 日

社会福祉法人大住福祉会

理事長 関根眞治 殿

監事 高杉 久美子 

監事 松井 啓二 

私たち監事は、令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日までの令和 6 年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

令和6年度事業報告

施設運営

今年度4月、新入園児13名、継続園児97名、計110名で始まり、5月4名、6月2名、9月3名、12月1名の入所があり、最終在園児数は116名、定員120名に対して今年度は4名の減員となった。

園の自己評価については、今年度もホームページ上に公表した。

園行事は、昨年度行く事が出来なかった京都市動物園に10月25日(金)幼児59名職員8名が大型バス2台に分乗し行く事が出来た。3月の5歳児お別れ遠足も、観光バスを使って京都水族館へ行くことが出来た。次年度もバスを利用する予定であるので、早めにバスを予約確保した。

施設整備では、ひろばに設置してあるクライミングウォールが老朽化したため新設工事を行った。また、京都府の補助金事業（保育環境等向上支援事業補助金）を利用し、送迎用駐車場から玄関に向かう通路にゴムチップマット舗装工事（8/10・8/17）を行った。年度末の3月には、砂場の清掃・除菌（3/26）と砂補充（3/27）を貯水槽清掃点検（3/28）を行った。

職員状況

8月末日付で調理師1名の退職。12月27日から産前産後休業取得の保育士1名。3月末日をもって都合退職の保育士1名、非常勤の早朝保育担当の保育者1名が退職した。次年度新規採用者は、調理師（常勤）1名、新卒保育士1名、パート保育士1名であった。

施設経営

今年度当初予算では、途中入所園児を考慮しておらず、大きくマイナス予算としていたが資金収支計算書上で19,867,286円のプラスとなった。プラス要因としては、収入面では委託費の増加による。ただし、この増加は、人事勧告による保育単価の人件費部分の改定の影響が大きく、大部分は処遇改善費として人件費で支給されている。また、プラス金額のうち約500万円（人件費積立）未支給分として、令和7年度に追加支給を予定している。

人件費は、当初の87.2%。第2次補正予算時79.0%中間報告時から最終的に73.9%となり、施設運営において理想的な数字となった。次年度も、収支バランスを考えながら無駄のない施設経営を行って行きたい。

令和6年度4月～3月の園児数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0 標	4	6	7	6	7	10	10	9	10	10	9	9
短	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
1 標	16	18	19	19	19	19	18	18	18	17	17	17
短	5	4	4	4	4	4	5	5	5	6	6	6
2 標	21	22	22	20	22	21	21	21	22	22	22	22
短	4	3	3	5	3	3	3	3	2	2	2	2
3 標	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
短	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
4 標	24	25	24	24	24	25	25	24	25	25	25	25
短	2	2	3	3	2	1	1	2	1	1	1	1
5 標	19	20	19	19	19	20	20	20	20	20	20	20
短	3	2	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2
合計	110	114	116	116	115	117	117	116	117	117	116	116

標準時間児計 1,220 名 短時間児計 167 名 総園児数合計 1,387 名

令和6年度職員数 27 名

内訳：園長 1 名、主任保育士 1 名、副主任保育士 2 名、保育士 17 名

保育補助者 2 名、調理員 3 名（調理師 2 名・栄養士 1 名）

アルバイト 1 名（無資格者）

嘱託職員 2 名（内科・歯科）

令和6年度年間行事予定		令和6年度年間行事实施状況
4月	・入園式〔進級児を含む全園児保護者出席〕4日(木)	式は行わず、説明会のみ実施
5月	・尿検査 15日(水) ・園外保育〔4、5歳児〕17日(金) ・保育参観〔3～5歳児〕21日(火)22日(水)24日(金) ・内科健診 23日(木)	5/15(水)予定通り実施 5/17(金)予定通り実施 5/21(火)～24日(金)予定通り実施 都合により予定変更し5/16(木)に実施
6月	・歯科検診 6日(木) ・個人懇談 3日(月)～14日(金)※土日除く ・花の日礼拝 11日(火)	6/6(木)予定通り実施 6/5(月)～16(金)予定通り実施 6/11(火)礼拝後慰問実施(九十九園・大住駐在所他)
7月	・お泊り会〔5歳児〕12日(金)～13日(土)	7/12日(金)～13日(土)予定通り実施
8月	・保護者会主催園庭整備 31日(土)	8/31(土)は台風101号接近の為に中止し9/14(土)に変更し実施
10月	・運動会〔2～5歳児〕5日(土)雨天順延 ・園外保育〔3～5歳児〕25日(金) ・保育参加〔0～2歳児〕30日(水)31日(木)11/1日(金)	10/5(土)運動会(2～5歳児)予定通り実施 10/25(金)予定通り実施 10/30日(水)31日(木)11/1日(金)予定通り実施
11月	・内科健診 7日(木) ・保護者会主催なかよしフェスタ 9日(土) ・収穫感謝祭 13日(水) ・歯科検診 14日(木)	11/7(木)内科健診 予定通り実施 11/9(土)保護者会主催なかよしフェスタ 予定通り実施 11/13(水)収穫感謝祭 予定通り実施 11/14(木)歯科検診 予定通り実施
12月	・クリスマス礼拝・祝会〔4・5歳児の保護者出席〕18日(水)	12/18(水)クリスマス礼拝・祝会 予定通り実施
2月	・豆まき 3日(月) ・親子で遊ぼう会〔0・1歳児〕保育発表会〔2～5歳児〕15日(土) ・個人懇談〔希望者〕18日(火)19日(水)27日(木)28日(金)	2/3(月)豆まき 予定通り実施 2/15(土)親子で遊ぼう会・保育発表会 予定通り実施 2/18・19・27・28 個人懇談(希望者)を予定通り実施
3月	・お別れ遠足〔5歳児〕7日(金) ・お別れ会 11日(火) ・卒園式〔卒園児保護者出席〕24日(月)	3/6(木)お別れ遠足(京都水族館) 実施 3/11(火)お別れ会 予定通り実施 3/24(月)第73回大住保育園卒園式 予定通り実施
随時	・発育測定・避難訓練・合同礼拝・お楽しみ会	予定通り随時実施
次年度入園進級式 4月4日(金)		

令和 7 年度（2025 年度）事業計画

社会福祉法人大住福祉会 大住保育園

1 施設の目的・運営方針

保育理念

社会福祉法人大住福祉会の運営する大住保育園は、キリスト教保育に基づき、将来の社会を担うべき子どもたちが、今の時を喜びと感謝をもって生き、愛他的能力に充ちた人間として成長できるよう育成し、望ましい未来を作り出す力の基礎を培う。

保育目標〔豊かに伸びる〕

- ・自分自身が大切なひとりとして受け入れられていることを感じとり、自分自身を喜びと感謝をもって受け入れるようになる。
- ・互いの違いを認めつつ、一緒に過ごす努力をし、そのことを喜びとするようになる。
- ・自分の力で考え、心を動かし、探求し、判断し、想像力を持ち、創造的にさまざまな事柄に関わるようになる。
- ・自然や世界の事柄に関心をもち、自分たちのできることを考え、行うようになる。
- ・してはいけないことをしようとする思いが、自分の中にあることに気づき、そのような思いに負けない勇気を持ち、行動することができるようになる。

保育方法

- ・一人一人の子ども家庭環境を把握し、子どもの健康と安全を基本にくつろいだ雰囲気の中で楽しく保育する。
- ・礼拝や生活のいろいろな面を通して、豊かな人間性を養う。
- ・子ども一人一人に、深い心を寄せて、主体性を存分に躍動させる。生活や遊びを充分楽しみながら、知らず知らず健やかな身体とたくましい生命力を育てる。
- ・子どもに、身体的・精神的苦痛を与えない。また、人格を辱めることなどがないようにする。
- ・保護者と誠実に接することにより、信頼関係を築き、保育に関する要望や意見・相談に解りやすい用語で説明をして、公的施設としての社会的責任を果たす。
- ・保育計画は、保育目標を踏まえ乳幼児の実態に即して作成し、個人差に十分配慮しながら展開する。よりよき保育を行うために、常に評価・反省を行う。
- ・保育者は常に自発的に学び、ひとりの人間として自分自身をより成長させるために努力する。

2 職員体制

園長 1 人 保育士 23 人 栄養士 2 人 調理師 2 人

3 保育を提供する日

開園日：月曜日から土曜日まで

休園日：年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する祝日および休日

新年度説明会の午後

気象特別警報、気象警報の大雪警報、暴風警報および暴風雪警報発令時

暴風雨、暴風雪、大雨、大雪、洪水その他の異常な自然現象により生じる災害の発生が予想されるとき

その他園長が特に必要と認めた日

4 保育を提供する時間

開園時間

月曜日～金曜日：午前 7 時～午後 7 時 土曜日：午前 7 時～午後 4 時

施設・法人運営について

令和7年度（2025年度）4月入所児童は、新入児11名・継続児90名、合計101名と、3年連続定員割れスタートである。前年度の在園児数が116名であるから、本格的に次年度以降の定員数についても検討が必要であり、入所児童の減少は委託費収入の減少であり、処遇改善加算等の交付金の減少につながるため、途中入所児の受入も積極的に行いたい。

施設整備としては、今年度も京都府の保育等子育て環境充実事業費補助金制度を利用し新規工事として園庭にゴムチップマットを敷設する予定である。（7月以降工事予定・工事金額¥1,300,000.）また、施設内の照明器具を蛍光灯からLED照明へと交換を計画している。（現在見積依頼中）その他にも、取替等が必要な箇所が出てきている状況であり、如何にして経費を削減しながら実施するかを検討計画中である。

職員研修等については、昨年度までは、「処遇改善加算Ⅱ」の対象者に対しては、こちらから、キャリアアップ研修を受講させていたが、今年度からは、自主的に受講しキャリアアップを自らが行う様に変更する予定である。誰のためのキャリアアップであるのか、現状では理解できていないように感じられるためである。

職員状況については、令和6年度3月末日で保育士1名と早朝保育担当のパート職員1名が退職し、令和7年度4月1日付で常勤職員として調理師1名、保育士1名、非常勤職員としてパート保育士1名を採用した。また、常勤保育士1名から、高齢の親の介護が必要となったため非常勤職員として（早朝保育から昼までの6時間勤務、週5日土曜行事出勤）働きたいとの申出があり、この申出を承諾した。ただ、令和6年度の途中入所児のほとんどが乳児（0～1歳児）であったため、今年度5月以降の入所児を考慮すると保育士不足となるため、保育士の確保を引続き行っていく。

その他職員状況は、栄養士が6月に育児休業取得予定、保育士1名が3月21日より育児休業取得中（職場復帰予定は令和8年1月22日）である。

法人運営

法人全体では、当初予算において途中入所児を考慮していないため、大きくマイナス予算となっている。人件費率も、令和6年度第2次補正予算上の79.0%から令和7年度当初予算上では、86.0%と高い数字となっており、半期で収支の運営バランスを見ながら、無駄の出ないように中長期的な運営を行っていく計画である。

令和7年度入所児童予定数

	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		合計	
	新	継	新	継	新	継	新	継	新	継	新	継	新	継
標準時間	1		2	9	3	16	2	21	0	10	0	23	8	79
短時間	2		1	0	0	6	0	2	0	2	0	1	3	11
合計	3		12		25		25		12		24		101	

〈年間行事予定表〉

4	☆◇新年度説明会〔進級児を含む全園児保護者出席〕 4日(金)
5	・尿検査 14日(水) ・園外保育〔4、5歳児〕16日(金) ☆◇保育参観〔3～5歳児〕20日(火)21日(水)23日(金) ・内科健診 22日(木)
6	・歯科検診 5日(木) ☆個人懇談 2日(月)～13日(金) ※土、日除く ・花の日礼拝 10日(火)
7	・お泊り会〔5歳児〕 11日(金)～12日(土)
9	★保護者会主催園庭整備 6日(土)
10	☆◇運動会〔2～5歳児〕4日(土) 予備日8日(水) ・園外保育〔3～5歳児〕23日(木) ☆◇保育参加〔0～2歳児〕 29日(水)～31日(金)
11	・内科健診 6日(木) ★保護者会主催なかよしフェスタ 8日(土) ・収穫感謝祭 12日(水) ・歯科検診 13日(木) ☆◇クラス懇談〔3～5歳児〕17日(月)～19日(水)
12	☆◇クラス懇談〔0～2歳児〕1日(月)～4日(木) ☆◇クリスマス礼拝・祝会〔4・5歳児の保護者出席〕17日(水)
2	・豆まき 3日(火) ☆◇親子で遊ぼう会〔0・1歳児〕・保育発表会〔2～5歳児〕14日(土) ☆個人懇談〔希望者〕 17日(火)～20日(金)
3	・お別れ遠足〔5歳児〕5日(木) ・お別れ会 10日(火) ☆◇卒園式〔卒園児保護者出席〕 23日(月)
随時	・発育測定 ・避難訓練 ・合同礼拝 ・お楽しみ会
次年度 新年度説明会 4月4日(土)	

- ・ ☆印は、保護者の方にも参加していただく行事ですので、ご都合をつけてご協力くださいますようお願いいたします。(★は保護者会主催) なお、午前中のみで終了する行事もあります。
- ・ ◇印の行事の時、希望者は料金 500 円を払って駐車できます。(事前申込制)
- ・ 行事の日程はあくまで予定です。変更になる場合がありますのでご了承ください。
詳しい日時等は、毎月の園だより等にてお知らせします。

〈クラス編成〉

乳児	年齢	クラス名	幼児	年齢	クラス名
	0歳児	つくし		3歳児	すみれ
	1歳児	たんぽぽ		4歳児	ばら
	2歳児	もも		5歳児	ゆり

大住保育園 2025 年度 全体的な計画

保育理念			保育国の社会的責任				保育の計画と評価											
社会福祉法人大住福祉会の運営する大住保育園は、キリスト教保育に基づき、将来の社会を担うべき子どもたちが、今の時を喜びと感謝をもって生き、愛他的能力に充ちた人間として成長できるよう育成し、望ましい未来を作り出す力の基礎を培う。			・人権に配慮する ・子どもの人格を尊重し保育を行う ・地域社会との交流や連携を図り、保育の内容を適切に説明する ・個人情報保護に適切に取り扱う ・保護者の苦情解決を図るよう努める。				保育の目標を達成するため、方針や目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえた保育の内容が組織的・計画的に構成され総合的に展開されるよう、全体的な計画を作成する。これに基づき指導計画、保健計画、食育計画等を作成する。保育士等の自己評価、保育所の自己評価を行い、公表し、保育内容の改善を図る。											
保育目標 (豊かに伸びる)			・一人一人の子どもが健康と安全を基本にくつろいだ雰囲気の中で楽しく保育する。 ・礼拝や生活のいろいろな面を通して、豊かな人間性を養う。 ・子ども一人一人に、深い心を寄せて、主体性を存分に躍動させる。生活や遊びを充分楽しめる環境を整えながら、知らず知らず健やかな身体とたくましい生命力を育てる。 ・子どもに、身体的・精神的苦痛を与えない。また、人格を辱めることなどがないようにする。 ・保護者と誠実に接することにより、信頼関係を築き、保育に関する要望や意見・相談に解りやすい用語で説明をして、公的施設としての社会的責任を果たす。 ・保育計画は、保育目標を踏まえ乳幼児の実態に即して作成し、個人差に十分配慮しながら展開する。よりよい保育を行うために、常に評価・反省を行う。 ・保育者は常に自発的に学び、ひとりの人間として自分自身をより成長させるために努力する。				養護に関する基礎的事項		幼児教育を行う施設として共有すべき事項									
保育の方法 (目指す保育士像)			・養護とは、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士等が行う援助や関わり。 ・保育所における保育は、養護及び教育を一体的に行う。 ・養護に関するねらい及び内容を踏まえた保育を展開する。				生涯にわたる生きる力の基礎を培うため、保育の目標を踏まえ、資質・能力の3本の柱を一体的に育むよう努める。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、ねらい及び内容に基づく保育活動全体を通して資質・能力が育まれている子どもの小学校就学時の具体的な姿であり、保育士等が指導を行う際に考慮する。											
保育の時間など			標準時間 7：00～18：00（延長 18：00～19：00）土曜 7：00～16：00 短時間 8：30～16：30 土曜 7：00～16：00				小学校との連携（小学校教育との接続）											
行事			入園進級式、園外保育、内科健診、保育参加、歯科検診、個人懇談、花の日礼拝、お泊り会、運動会、なかよしフェスタ、クラス懇談・保育参観、収穫感謝祭、クリスマス礼拝、豆まき、遊ばう会、発表会、お別れ遠足、お別れ会、卒園式				子どもの発達・生活リズム及び心身の状態に十分配慮し、通常保育とのバランスを考慮し、一日の疲れや保護者を待つ気持ちを受け止め温かい対応を行う。家庭との密接な連携を行うと共に、職員間の協力体制と子どもの正確な情報の伝達を通し、子どもが不安を抱くことなく過ごせる環境と保育を保証する。											
年 齢		満1歳まで		1歳児（満1歳から）		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		小学校以上の教育との接続に鑑みて				
子どもの保育目標		・個々の生理的欲求を十分満たし、安定した応答的な生活の中で愛着関係を築き情緒を安定させる		・探索活動を十分し、周囲の人や物への興味、関心を広げ、意欲へとつながる		・喜怒哀楽を十分表現でき、象徴機能や、観察力を発達してあそびを広げようとする		・友だちとの関わりの中で、保育士の仲立ちにより、相手の気持ちを広げようとする		・保育士や友だちとのつながりを広げ、集団で活動することを楽しみ、相手の思いやる気持ちを育つ		・相手の思いやる気持ちが育ち、生活やあそびの中で一つの目標に向かって力を合わせて活動する		育みたい資質・能力は小学校以上の個別の「知識や技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」につながるものである。また、この資質・能力を実現するためにアクティブ・ラーニングを用いる。				
養 護	生命保持	・家庭との連携を密に取りながら、個々の生活リズムを大切にし、生理的欲求を満たす		・応答的な関わりを通して、生理的欲求を満たされるようにする		・安定した園生活を送る中で、身の周りのことを自分でしようとする気持ちを育てる		・基本的な生活習慣を身に付けられるようにする		・基本的な生活習慣が身につく。自らできることの喜びを感じられるようにする		・基本的な生活習慣が身に付き、自分のできたことに自信や満足感をもつ		10の姿 ア. 健康な心と体 イ 自立心 ウ 協調性 エ 道徳性・規範意識の芽生え オ 社会生活の関わり カ 思考力の芽生え				
	情緒安定	・応答的な触れ合いにより愛着の絆を形成する		・子どもの気持ちを受容し、共感しながら信頼関係を築く		・様々な自己主張を受け止め、一人ひとりの気持ちに共感し、自我の育ちを援助する		・自我の形成と共に主体的な行動や探索意欲が高められるようにする		・自己肯定感を育み、他者を受容する気持ちを育てる		・自己肯定感が育ち、仲間との一体感を感じながら自信を持って活動できるようにする						
教 育	健やかに伸び伸びと育つ	・寝返り、ハイハイ、お座り、つたい歩き、立つ、歩くなどそれぞれの状態に合った活動を十分に行う ・園生活を通して食事・睡眠・あそびなど生活リズムの育ちを促す		健康	・歩行に伴い、探索活動が盛んになり、外界への興味や認識を広げていく		・全身や手指を使うあそびを楽しむ ・身のまわりの清潔や安全の習慣を少しずつ身につけていく		・外あそびを十分するなどあそびの中で体を動かす楽しさを味わう ・生活の流れがわかり、自分なりに身のまわりのことができるようになる		・危険なものや場所についてわかり、道具や用具などを使って体を動かしてあそぶ ・健康、安全な生活に必要な習慣に関心をもち、次第に身につけようとする		・危険な場所や事物などがわかり、安全について理解して行動する ・健康安全な生活に、必要な習慣が身につく。見過しをもって行動する		3本の柱 ア 豊かな体験を通じて感じたり、気付いたり、分ったりできるようになったりする「知識及び技能の基礎」 イ 気付いたりできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、判断力、表現力等の基礎」 ウ 心情、意欲、態度等が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」			
	身近な人と気持ちが通じ合う	・喃語や片言を優しく受け止めてもらい、応答的な関わりの中で、発語や保育士とのやりとりを楽しむ ・特定の保育士との深い関わりにより基本的信頼関係が生まれる		人間関係	・保育士との安定した関わりの中で周囲の人に自ら関わろうとする		・保育士の仲立ちにより、友だちと一緒に過ごす楽しさを知る		・やってはいけないことが分かり、我慢しようとする ・簡単なルールを守ってあそぼうとする		・友だちの気持ちがわかり、喜びや悲しみを共感し合う ・友だちと楽しく生活する中で、決まりの大切さに気づき、守ろうとする		・互いに許したり、認めたりできるようになり、仲間意識を高める ・地域の人や近隣の友だちなど自分の生活に関係の深い人たちに親しみを持つ					
	身近なもの関わり感性が育つ	・安心できる環境の下で、身近な物に興味・関心を持ち、つまむ・たたく・引く張るなどの手や指を使ってのあそびを楽しむ ・汁菜歌やわらべうたなどを楽しんで聞いたり、歌やリズムに合わせて手や体を動かして楽しむ		環境 表現	・探索活動を通して、身近な玩具や遊具、自然物に触れて十分あそぶ ・保育士の応答的な関わりにより、声や言葉で気持ちを表そうとする ・保育士と一緒に歌ったり、手遊びをしたり、絵本を見たり、身体を動かしたりして楽しむ ・また水・砂・土・紙などの素材に触れて楽しむ		・様々な物に触れ、好奇心を持ち、探索や模倣などを楽しむ ・保育士が仲立ちとなり、生活やあそびの中で言葉のやりとりを楽しむ ・生活に必要な言葉がある程度わかり、したいこと、してほしきことを言葉で表す ・感じたことや思ったことを描いたり、歌ったり、体を動かしたりして、自由に表現しようとする ・自分でイメージを広げたり、見立てを楽しんだりしてあそぶ		・自然や身近な事物、事象に触れ、驚いたり、感動したりして興味や関心を深める ・人の話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして言葉で伝え楽しさを味わう ・日常生活に必要な構図や身近にある文字などに興味や関心をもつ ・人の話を注意して聞き、相手にわかるように話したり、わからないことを尋ねたりする		・危険な場所や事物などがわかり、安全について理解して行動する ・健康安全な生活に、必要な習慣が身につく。見過しをもって行動する							
情報公開等			地域の実態に対応した保育事業と行事への参加		自己評価等		特色ある教育と保育		健康支援/状態把握・増進・疾病対応		環境及び衛生管理並びに安全管理(危機管理計画別紙)		災害への備え(避難計画別紙)		子育て支援		職員の資質向上(研修計画別紙)	
・人権尊重・虐待確認保護、個人情報保護、苦情処理解決対応及び第三者委員、承認士等の配置、適正な園運営のための会計事務所による外部監査・ホームページの開設・(給食試食会)・障がい児保育・延長保育等			人的物的面の確保、保育士の確保により乳児保育を含む3歳未満児の受け入れを推進し、対応する。		・法人施設による適切な施設運営管理の評価・保育所の評価(全体の反省による全体計画等の反映)・保育士等の評価(自己評価と子どもの評価の確立)・自己チェックリストの実施と危機管理マニュアルの作成、習得		・キリスト教に基づく保育 ・自然を生かし、のびやかな心と体を育む保育 ・保育環境を整え、遊びを豊かにする保育		・健康及び発育発達状態の定期的、継続的な把握・年2回の嘱託医による健康診断(内科・歯科・登園時及び保育中の状態観察、また異常が認められたときの適切な対応・職員健康診断及び毎月の検便		・施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒等、安全管理及び自主点検 ・子ども及び職員の清潔保持・感染対策指針の作成と実施及び保護者との情報共有		・避難訓練(火事・地震・風水害・不審者対応)の実施 ・消防署指導による消防訓練 ・被災時における対応と備蓄 ・年2回外部業者による消防設備点検 ・月1回消防設備等自主点検		教育及び児童福祉としての保育並びに子育て支援の有機的な連携が図られ、子どもの成長に資する、子育ての喜びが感じられるよう子育て支援に努める		質の高い保育を展開するため、一人ひとりの職員について資質向上及び職員全体の専門性の向上を図るよう努める。保育所職員に求められる専門性を理解し、保育の質の向上に向けた組織的な取り組みを行う。職場研修、外部研修など体系的な研修計画を作成し、結果を活用する。	

0歳児 月主題 月のねがい

1・2歳児 月主題 月のねがい

2025年度 年主題 ともに	月	主題	月のねがい	月	主題	月のねがい
	4月	はじめまして	・神さまから愛されている大切な存在として受け入れられる ・新しい環境の中で保育者や友だちとであう ・春の自然を感じる (保)子どもや保護者の心細さに寄り添い、穏やかに関わる	4月	よろしくね	・保育者や友だちと一緒に祈ったり、賛美する中で生活する ・新しい環境の中で保育者や友だちとであい、安心して過ごす ・春の草花、虫などに関心をもち触れたりながめたりする (保)一人ひとりの思いを受けとめて丁寧に関わる
	5月	すこしずつ	・保育者の祈りや賛美にふれる ・安心できる大人のそばで、十分に受けとめてもらいながら過ごす ・戸外で過ごすことが多くなり、身近な草花や虫を見て、触れる (保)表情や態度からその子の思いに気づき、共感する	5月	だいじょうぶ	・祈りやさんびかに親しみ心地よく感じる ・保育者に受けとめてもらい、安心して好きな遊びをみつける ・自然の音や色に気づいて関心が向いていく (保)子どもの姿の小さな変化に気づき、子どもが関心を向けていることをともに感じる
	6月	なになかな なになかな	・保育者の祈りや賛美の中に身を置く ・まわりの人に関心をもちようになる ・まわりの自然に触れ親しみ、体で感じる (保)穏やかなまなざし、ことばかけなど安心できる環境を整える	6月	なんだろう	・保育者の祈りや賛美を喜んで、真似をする ・まわりの人やものに関心をもち、遊びを広げていく ・自然に触れあう中で不思議な事柄にであう (保)一人ひとりの興味関心に共感しながら言葉添えていく
	7月	どれどれ	・保育者の祈りや賛美に親しむ ・こまめに汗を流してもらい、心地よく過ごす ・水、砂、土、泥に触れ、感触を楽しむ (保)水分補給や体調の変化に気を付けて心地よく過ごせるようにする	7月	ぞんぶんに	・保育者の祈りや賛美の中で神さまを感じる ・やりたいことを存分に楽しみ、友だちや保育者と共感する喜びを知る ・水、砂、土、泥などの感触を味わったり、草花に触れて遊ぶ (保)暑さに十分気を配りながら、心地よく過ごせるよう様々な配慮をしていく
	8月	ゆったりと	・神さまやまわりの人たちに愛されていることを全身で感じる ・家族や保育者とゆったりと過ごし、楽しいことをみつけていく ・いろいろなものに触れ、五感で感じる (保)熱中症や感染症に十分配慮し、ゆったりとした時間を子どもとともに楽しむ	8月	ゆったりと	・まわりの人に愛され、神さまに守られていることを感じる ・家族や保育者、友だちとゆったりと過ごし、心が満たされる ・夏の生活を五感で感じる (保)熱中症や感染症に十分配慮し、ゆったりとした時間の中で遊びや生活を楽しめるように工夫する
	9月	みてみて	・保育者の祈りや賛美を真似ようとする ・のびのびと過ごす中で、自分のお気に入りを見つける ・空や雲、虫の音を保育者とともに感じる (保)子どもの活動範囲や遊びを見て、安全に遊べる環境を見直す	9月	おもしろそう	・神さまのお話を聞き、親しみをもつ ・保育者との関係が深まり、安心して自分自身を表す ・空や雲、虫の音に気づき、興味をもつ (保)一人ひとりの思いを受けとめ、応答する
	10月	たのしいね	・保育者と一緒に祈ったり、さんびかを歌ったりする ・友だちに関心をもち、一緒に楽しむ場面が増える ・少しずつ変わっていく季節を感じる (保)粗大運動、微細運動を通して体の機能が育ち、遊びが深まるよう支える	10月	やりたいな	・保育者と一緒に祈ったりさんびかを歌ったりすることを楽しむ ・自分の好きなことを繰り返し取り組み、友だちの遊びにも関心をもち ・夏から秋へと変化する季節の中で、戸外の活発な遊びを楽しむ (保)心身ともに豊かに過ごせるように一人ひとりの興味関心を受けとめ環境を整える
	11月	み一つけた	・保育者の祈りやさんびかを通して神さまを感じる ・興味関心が広がり、声を出して表現するようになる ・たくさんの自然物に触れたり味わったりする (保)神さまからの秋の豊かな恵みを子どもたちとを感じる	11月	じつくりと	・賛美や祈りを通して神さまを身近に感じる ・やりたいこと、興味があることにじっくり取り組み楽しむ ・自然の恵みに感謝し、遊びや生活に取り入れる (保)子どもが考えたり選んだりできる環境を用意する
	12月	わくわく するね	・クリスマスの雰囲気を感じてわくわくする ・絵本を見てうたを歌って楽しく過ごし、気持ちが満たされる ・外気に触れ、冬の訪れを感じる (保)室温や換気、加湿の配慮、適度な水分補給をしながら快適に過ごせるようにしていく	12月	わくわく するね	・クリスマスの雰囲気を全身で感じ、わくわくしながらイエスさまのお誕生を祝う ・保育者や友だちといろいろな形で喜びを表現する ・風や空気の冷たさ、日の入りの早さなど変化を感じ、冬の訪れを感じる (保)子どもたちと一緒にわくわくしながらアドベントの期間を大切に過ごす
	1月	いっしょ	・神さまに守られていることを感じ、安心して過ごす ・友だち、保育者といふことを喜び、関わろうとする ・「自分で」という意識が強くなり、やってみようとする (保)遊びや生活リズムを見直し、個々の育ちに添った配慮をしていく	1月	いっしょ	・神さまに愛され、自分も友だちも大切にされていることを感じ、喜ぶ ・友だちと一緒に楽しむ ・冬の自然を感じながら体を使って楽しく遊ぶ (保)自分でやってみようとするが増えるように環境を工夫する
	2月	だいすき	・保育者の祈る姿を見て、一緒に祈ろうとする ・保育者や友だちとやり取りしながら、その存在を楽しいものと感じ一緒に過ごすことが増える ・冬の自然を感じながら遊ぶ (保)一人ひとりの育ちや個性を受けとめながら丁寧に関わる	2月	だいすき	・自分のことばで神さまとお話してみる ・友だちの存在をうれしいものとして感じ、一緒に遊びながらいろいろな思いに気づく ・自然の不思議さやおもしろさに気づき、楽しむ (保)それぞれの子どもの今を大切にしつつ、一人ひとりの育ちを捉えて新たな願いを保育者同士で共有する
	3月	おおきくなったね	・「神さまありがとう」とともに祈る ・生活リズムが安定し、心も体も満たされて過ごす ・春の訪れを感じ、活発に動き出す (保)成長させてくださった神さまに感謝し、一人ひとりの育ちを喜び、次年度へ引き継いでいく	3月	おおきくなったよ	・神さまやたくさんの人に愛され大きくなったことを感じ喜ぶ ・友だちと一緒に心地よく十分に遊ぶ ・季節の変化を感じ、いろいろな春を見つけ触れてみる (保)子どもたちとの関係性や一人ひとりの育ちを感謝して、次年度へと繋げていく

2025年度 年主題 ともに

2025年度 年主題 ともに	月		月のねがい	
	月	主題		
2025年度 年主題 ともに	4月	だいじょうぶ	・新しい出会いの中で、避難児も新人児も保育者と一緒に音楽や祈りを通して神さまの愛に包まれている雰囲気を感じる ・まわりの様子を見たり、好きな人や場所をみつめたり、くり返し遊ぶことで安心して過ごす ・身近な花や草、虫を保育者と一緒にみつめ、春の訪れを感じる。 ・(保)一人ひとりの子どもの姿を受けとめ、丁寧な関わりの中で大丈夫と思えるような雰囲気や大切に、子どもを中心にした保護者、職員同士の出会いを大切に	
	5月	動き出して	・保育者や友だちとともに祈り、音楽し、見えな神さまを感じる ・好きな遊びをみつめる。友だちの遊びを見て心と体が動きだしてみたいとする ・風の気持ちよさ、草や花の香り、虫の触れなどを感ぜたいとする ・(保)食事・排泄など生活習慣の様子を捉え、一人ひとりのペースを大切にしながら必要な関わりを保護者とともに考える	
	6月	かんじる	・季節の花、虫、雨や雪の動きなど身近な自然を通して、大地を創られた神さまを感じる ・友だちと一緒に過ごすことを嬉しく感じるとともに思い、通じ合いたい経験をもち ・砂や泥、水などに触れ、おもしろそう、なんだろう、やってみようと思う ・(保)保育者間で遊びの姿を振り返り大切なことを確認し、興味関心をもちあわせるような環境を工夫する	
	7月	はずんで	・音楽やお祈りすることを喜び礼拝を心地よく感じる ・好きな遊びを夢中になって繰り返す中、保育者や友だちとのやりとりが楽しくなり、やってみたいと気持ちよく ・暑い中でも木陰の涼しさを感じ、水遊びなどで心も体も開放する ・(保)暑さが強くなる中、熱中症に留意し、保育者職員間で健康管理や安全管理対策を共有する	
	8月	祈りの中で	・いつでもどこにいても、神さまがそばにいてくださることを覚え祈りあう ・いももは違う、ゆめたりと環境の中で、異年齢の関わりや好きな遊びを通して思いが伝わる ・夏の野菜や果物を収穫し、味わったりする。虫などに触れ自然の恵みに感謝しながら過ごす ・(保)祈りの中で平和の大切さを覚えて過ごす。保育者も学びや余暇の時間が与えられ、心も体もリフレッシュする	
	9月	おもしろそう	・夏の間にそれぞれの場で守られたことを感謝し、礼拝、祈り、音楽の時間をともにする ・夏の経験やこれまでの遊びからイメージを共有し、友だちと遊ぶ楽しさを感じる ・空や風、雨、風など季節の変化に気づき、1人で外へ出て遊ぶことを心地よく感じる ・(保)夏の経験から遊びのイメージが膨らんでいくような環境を整え、子ども同士がつながりをもてるよう支えていく	
	10月	いっしょに	・神さまがくださった心と体、家族、友だち一人ひとりを大切に思い、感謝する ・歌ったり、踊ったり、作ったり、描いたりなど表現する楽しさをひとりでもまたは友だちや保育者と一緒に味わう ・季節の変化を感じながら、1人で過ごす心地よさを味わうとともに室内でじっくり取り組むことを楽しむ ・(保)子どもがいろいろな遊びを楽しめるように保育者が活動や環境を工夫する。保育者間で共通理解を図り、一年の後半の生活を支えていく	
	11月	神さま ありがとう	・庭の木々やまわりの自然から秋の深まりを感じ、秋の収穫を神さまに感謝する ・友だちとイメージを共有し、絵本やお話の世界を楽しむ ・自然物を見つめたり触れたりしながら、遊びの中に生きあうとする ・(保)保育者職員間でクリスマスを迎える準備の意味を伝え合い、思いを分かち合いながらアドベントを迎える	
	12月	よろこび いっぱい	・イエスさまのお誕生の話を聞き、イエスさまが私たちのために生まれてくださったことを知り喜び ・4、5歳児の姿に憧れたり真似をしなから、音楽したり体を使ってクリスマスの喜びを表現する ・寒くなってくる季節の中にも1人で遊びを楽しむ、続ける遊びも大切にする ・(保)クリスマスの意味を伝えながら、子ども、保護者、保育者職員ともにイエスさまが生まれてくださった喜びをわかちあう	
	1月	じっくりと	・クリスマスにお生まれになったイエスさまを身近に感じながら聖書のお話を聞く ・伝承遊びや季節の遊びなどを通して、友だちとじっくり過ごすことを楽しむ ・空や風、水などの冷たい寒さを感じながら、1人で外に出て自然の変化をみつめる ・(保)子ども同士の関わりを見守り、やってみようとする意欲が育つよう一人ひとりの興味関心を受けとめ丁寧に関わり、環境に配慮する	
	2月	つながりあう	・お祈りすること音楽をすること、聖書のお話を聞くことで神さまがイエスさまを通して私たちにつながってくださっていることを感じる ・友だちと遊びを繰り返す中で相手の思いに気づき、自分の思いを伝えることを保育者とともに経験する ・寒い中でも庭の木の芽など次の季節への準備がなされていることに気づく ・(保)一年間の生活を保育者間、保護者とともに振り返り、次年度にむけての願いや思いをわかちあう	
	3月	よろこびあう	・大きくなったことを神さまに感謝し、互いに喜びあう ・自分の遊びを深めつつ、お互いの存在を感じあひながらともに過ごす ・球根の芽や咲き始めた花々に目をとめ、伝えあひながら春の訪れを喜びあう ・(保)子どもたち・保護者・保育者職員との出会いに感謝しつつ、一年間の生活を振り返りながら、新たな希望に向かう	

4月	
5月	
6月	
7月	

月	主題	月のおがい
4月	神さまに愛されて	・お祈りやさんびか、聖書のお話、そして保育者のまなざしやことばの中に、神さまに愛されているという安心を感じる ・これまでの体験や関わりに重ねて、遊びの続きや友だちとの交わりを喜び ・春の自然の美しさやおもしろさを感じて過ごす (保) お祈りやさんびか、聖書にふれるうちに芽生えた疑問や不安を受けとめ、心とことばをかけながら信頼関係を深めていく(子どもにも保護者にも保育者にも)
5月	なんだろう	・神さまの御られた世界の中に、たくさんのお楽しみや不思議があることに気づき、思いを寄せる ・自分の好きなことやまわりのもの・ことに心をめて、感じて考え動いていく ・草花や木々の育ち、虫や小動物の命にふれる (保) 子どもも自らが気づき感じられるよう、先まわり過ぎないようにする。その上で、子どもの驚きや問いかけや感動を共有して楽しむ
6月	みつける	・聖書のお話の中に、神さまの私たちへの愛やまじりを感じる ・興味をもったことからの探求を奨励し、体験や知識を広げていく。また絵本やうた、保育者や友だちの話からことばの世界で探っていく ・人なりの気づきとして園生活を送れるよう、またともに暮らしやすいう、環境づくりや、生活習慣の順序やこつを体験しながら習得していく (保) 子ども一人ひとりが自発的に遊ぶ時をたっぷり保障する。また、集まりや集団での活動の時に豊かな体験や交わりが生まれるよう保育者自身も楽しみなから支える
7月	思いっきり	・土を喜んで冒険する(と掘り、歌い、踊り、ハルルーや〜と心を合わせ) ・遊びや関わりの中で、表現すること・探求すること・交わることを思いやり楽しむ ・思い通りにいかないことや、友だちとのぶつかりの口で自分の気持ちや伝え、立ち止まってかまんだり、やり直したり、仲間いることを経験を重ねる (保) 激しい動きを想定して安全に配慮しながら、子どもが多少の汗をかき、体を動かし、水で遊び、夏の自然にふれることのできる時を大切に支える
8月	祈りあう	・神さまに感謝し、神さまの御られた世界や神さまが私たちに与えてくださっている人を大切にできるよう祈りあう ・一日の時間、「動」きの時間と「静」きの時間を持ち、躍動することも、またゆったりと落ち着いて過ごすことも大切に ・する。友だちとの遊びのしるしや、感動のしるしを ・夏から秋への風や光の変化を感じて過ごす (保) 子どもも保育者自身も平和を愛し平和をつくり出すことのできる人とさせていだけるよう、祈り続ける
9月	気持ちいい	・礼拝に皆で参り、とくに主のこころで心が満たされる ・友だちと仲間(群れ)になって過ごすことや、イメージ・ゲームをつくり出して一緒に遊ぶことを始めようと思う ・自分の好きな遊びの始まりから終わりまでの過程をいかに楽しむ、その都度「これでよし」と心身ともに充実感を感じる (保) 子ども一人ひとりの興味関心に寄り添い、仲間関係の中に見える課題にも心をとめて関わる
10月	輝いて	・神さまが一人ひとりを愛し、それぞれに違う賜物をくださっていることに気づき、互いを認めあえるように祈りながら過ごす ・一人ひとりの賜物が生かされ合ふことも、とてもおもしろいことや心強くなることを感じる ・気持ちいい友だちの中、体を動かす、戸外で遊ぶことを楽しむ (保) 遊び(特に勝ち負けのある運動やゲーム)には結果がすべてではなく、その過程にある葛藤を経験する中で充実感・満足感を感じることができるように配慮する
11月	気づく	・気づくこと。神さまに感謝し、取っ物やとらえ分ちあひ食する喜びを感じる。自然の変化から神さまのなさることの喜ばしさを体感する ・友だちと気持ちよく遊ぶ経験も、祈りあうことによる経験も重ねながら、友だちと関わりあうことをより楽しむようになる ・色づいた葉や木の実から季節の移り変わりによる自然の変化に気づく。そして、実際に見て触れ、製作やごっこ遊び等を通して (保) アドベントを迎えるにあたり、保育者職員間で聖書を読み、イエスさまが私たちに与えられた意味をそれぞれが考える
12月	知らせよう	・本町のクリスマスを知り、家族や友だち、クリスマスを初めて迎える小さい子とたちに、その喜びを知らせようとする ・誰かのために祈ること、またプレゼントをもらうことだけでなく、心を込めて準備し贈ることの嬉しさを経験する ・うたや踊りや劇、飾り作り、アドベントカレンダー・・・様々なことを通してクリスマスをもっと待つことを楽しむ (保) クリスマスのために備える生活を大切にしながら、秋からの遊びの続きや日常の生活が守られるようにする
1月	広がる	・クリスマスの感謝と喜びの余韻の中、聖書に記されたイエスさまの子と時代からの生涯に心を惹かれ、礼拝する ・友だちとアディアを出し合い遊びを分かちあうことを楽しみなから、じぶんと遊ぶ ・吐息のひきは、空気の冷たさ、雪、水、雪、冬の冬などから冬を感じて (保) 遊びの環境や素材を見直し、遊びへの介入のタイミングや言葉かけを大切にすることで、子どもたちの遊びをつくり出す力を支える
2月	豊かになる	・神さまの愛を感じ、友だちや家族、他者のために祈りあうとする ・子ども同士で話合いやもめとの調整をしながら遊びが豊かになり、その遊びが長く続くようになる ・寒さの中にあっても、1日1か、木々から春の訪れを感じ、戸外で心地よく過ごす (保) 子どもも成長を保護者とともに喜び、願いを伝えていくようにする。保育者間でも子どもたちの姿を共有し、次年度に繋げていく
3月	希望をもって	・成長させてくださった神さまに感謝し、これからも神さまとともにいてくださることに希望をもつ ・進級・就学という新しい生活に希望と期待をもって、友だちと好きな遊びを存分に楽しむ ・1日1か、花々の開花から春の訪れを感じ、戸外で心地よく過ごす (保) 子どももまたも、保護者も、仲間も、新年度(新しい環境)に希望をもって一歩を踏み出すことができるように祈りあい、励ましあい、支えあう